

令和4年度 播磨町部活動地域移行アンケート調査結果概要

- 1 調査目的 土・日・祝日の部活動を段階的に地域に移行するというスポーツ庁の方針を踏まえ、現状の部活動の実態や関係者の意向について適切に把握し、部活動の円滑な地域移行をめざして、今後の施策の基礎資料とするため調査を実施する。
- 2 調査主体 播磨町教育委員会
- 3 調査方法 WEB 調査
 ○小中学生：個人配付のタブレットからの回答
 ○教職員：個人配付のタブレットからの回答
 ○保護者：QRコードの読み取りによるスマートフォン等からの回答
- 5 調査期間 令和4年12月8日(木) ～ 12月20日(火)

6 調査結果及び回収状況

対 象	回収数	対象人数	回収率
播磨町立2中学校 1年生・2年生	561	704	79.7%
播磨町立4小学校 5年生・6年生	621	647	96.0%
播磨町立2中学校 1年生・2年生 保護者	160	650	24.6%
播磨町立4小学校 5年生・6年生 保護者	260	600	43.3%
播磨町立2中学校教職員	49	63	77.8%
播磨町立4小学校教職員	84	139	60.4%
計	1,735	2,803	61.9%

7 調査設問

中学生(1・2年生)		小学生(5・6年生)	
1	属性①〔所属・学年〕	1	属性①〔所属〕
2	属性③〔部活動の参加状況〕	2	属性②〔学年〕
3	未加入の理由	3	属性③〔地域活動参加状況〕
4	部活動への期待	4	部活動への期待
5	部活動の問題点	5	地域移行への考え方
6	地域移行への考え方	6	活動希望種目
7	活動希望種目		

保護者〔中学生〕		保護者〔小学生〕	
1	属性①〔所属・学年〕	1	属性①〔所属・学年〕
2	属性②〔部活動の参加状況〕	2	属性②〔地域活動参加状況〕
3	部活動への期待	3	部活動への期待
4	部活動の問題点	4	部活動の問題点
5	地域移行への賛否	5	地域移行への賛否
6	地域移行での不安材料	6	地域移行での不安材料
7	妥当な費用負担額	7	妥当な費用負担額

教職員〔中学校〕		教職員〔小学校〕	
1	属性①〔所属〕	1	属性①〔所属〕
2	属性②〔年齢〕	2	属性②〔年齢〕
3	属性③〔顧問の専門性〕	3	部活動の意義についての考え
4	学校外での活動日数	4	部活動の問題点
5	部活動の意義についての考え	5	地域移行の考え方
6	部活動の問題点	6	兼業兼職の意思
7	地域移行の考え方	7	活動希望種目
8	兼業兼職の意思		
9	活動希望種目		

部活動の参加状況

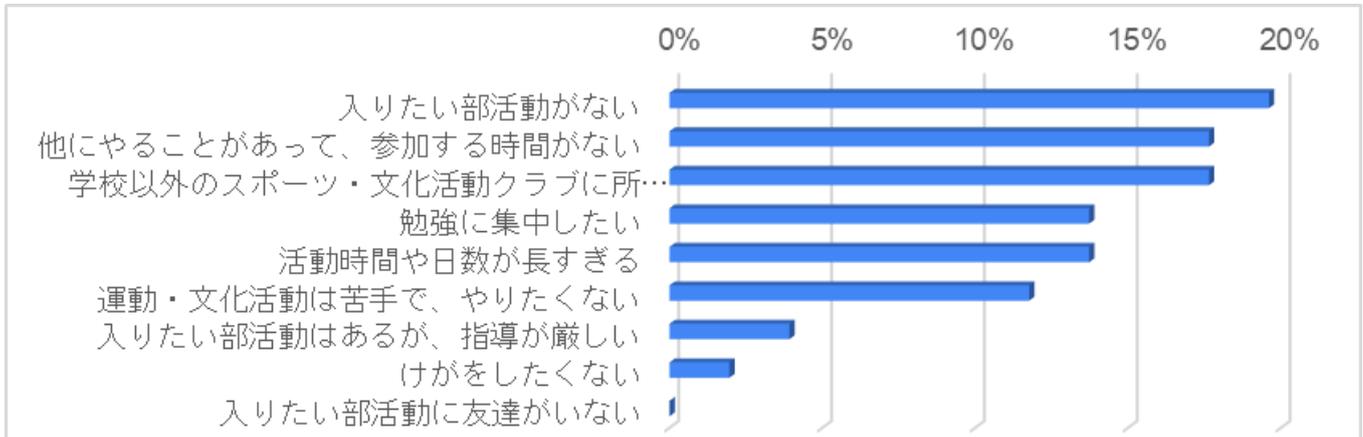
中学生(1・2年生) n=561

■ 1 所属していない ■ 2 所属している



- ・ 大部分の生徒(92%)が、部活動に参加している。
- ・ 一方、未加入の理由として、
 - ① 入りたいクラブがない
 - ② 時間がない
 - ③ 学校外の活動に参加しているが続いている。

未加入の理由



地域活動参加状況

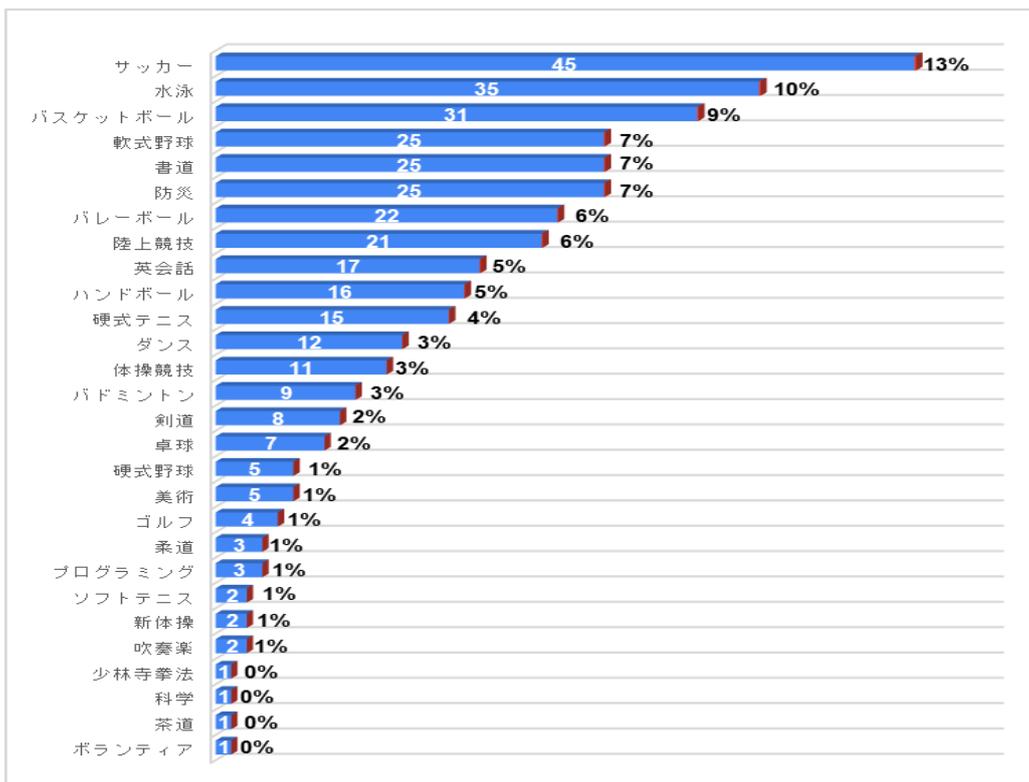
小学生(5・6年生) n=621

■ 1 所属していない ■ 2 所属している



- ・ 42%の児童が、地域でスポーツ・文化活動に参加している。
- ・ 多い活動種目順では、
 - ① サッカー
 - ② 水泳
 - ③ バスケット
 と、なっている。

地域活動参加状況



《部活動への期待》

<質問>

- ① 中学校生活を、楽しく豊かにしたい
- ② 試合で勝つ喜びを味わいたい
- ③ スポーツ(競技)や音楽などを楽しみたい
- ④ ルールや技術などの基本を、身につけたい
- ⑤ クラスや学年を超えた友人をつくりたい
- ⑥ 厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけたい
- ⑦ スポーツマンシップや団体行動を身につけさせたい
- ⑧ 体力や楽器演奏などの技術の向上をめざさせたい
- ⑨ 高校や大学の進学に役立てたい

(全質問集計)

※ 肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

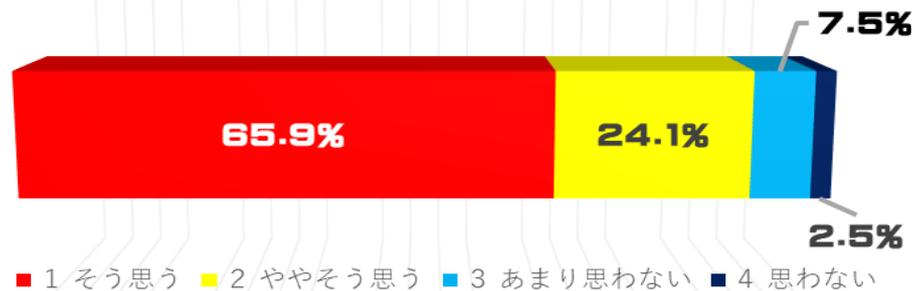
部活動への期待(中学生1・2年)



部活動への期待(小学生5・6年)



部活動への期待(中学生保護者)



部活動への期待(小学生保護者)



《部活動への期待》

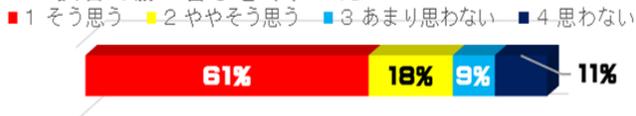
(個別質問集計)

中学生(1・2年生) n=561

中学校生活を楽しく豊かにしたい



試合で勝つ喜びを味わいたい



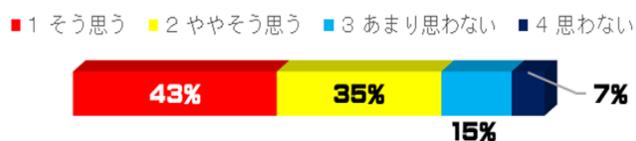
スポーツ(競技)や音楽などを楽しみたい



ルールや技術などの基本を身につけたい



クラスや学年を超えた友人ができる



厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけたい



スポーツマンシップや団体行動を身につけたい



体力や楽器演奏などの技術の向上をめざしたい



高校や大学の進学に役立てたい

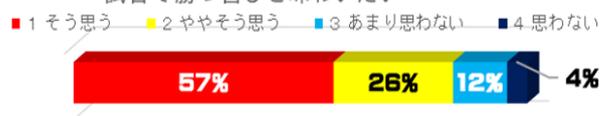


小学生(5・6年生) n=621

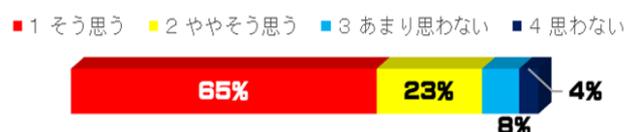
中学校生活を楽しく豊かにしたい



試合で勝つ喜びを味わいたい



スポーツ(競技)や音楽などを楽しみたい



ルールや技術などの基本を身につけたい



クラスや学年を超えた友人ができる



厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけたい



スポーツマンシップや団体行動を身につけたい



体力や楽器演奏などの技術の向上をめざしたい



高校や大学の進学に役立てたい



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・小・中学生とも部活動への期待が高いことがうかがえる。
- ・ただ、「高校・大学の進学に役立てたい」の問いに対しては、中学生の肯定的意見は約 60%にとどまっている。

《部活動への期待》

(個別質問集計)

中学生保護者 n=160

中学校生活を楽しく豊かであってほしい



試合で勝つ喜びを味わわせたい



スポーツ(競技)や音楽などを楽しんでもらいたい



ルールや技術などの基本を、身につけさせたい



クラスや学年を超えた友人をつくらせたい



厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけさせたい



スポーツマンシップや団体行動を身につけさせたい



体力や楽器演奏などの技術の向上をめざさせたい



高校や大学の進学に役立てたい



小学生保護者

n=260

中学校生活を楽しい豊かであってほしい



試合で勝つ喜びを味わわせたい



スポーツ(競技)や音楽などを楽しんでもらいたい



ルールや技術などの基本を、身につけさせたい



クラスや学年を超えた友人をつくらせたい



厳しい練習に耐え、忍耐力など強い精神力を身につけさせたい



スポーツマンシップや団体行動を身につけさせたい



体力や楽器演奏などの技術の向上をめざさせたい



高校や大学の進学に役立てたい



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

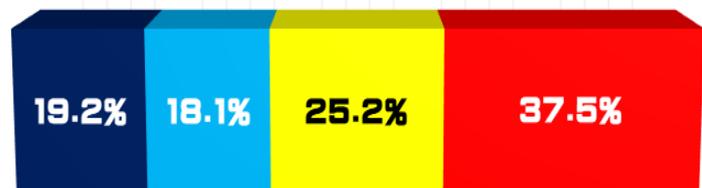
- ・小・中学生の保護者とも、部活動への期待が高いことがうかがえる。
- ・特に、「中学校生活を豊かであってほしい」や「スポーツ(競技)や音楽などを楽しんでもらいたい」という項目に対して、90%を超える高い期待感がうかがえる。
- ・一方、「高校・大学の進学に役立てたい」の問いに対しては、小・中学生の保護者は児童生徒と同じく、肯定的意見が約60%にとどまっている。

《部活動の問題点》

<質問> (中学生・中学生保護者・小学生保護者)

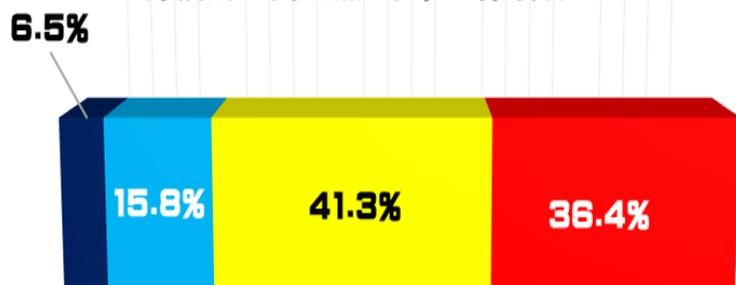
- ① 部活動の時間や日数が長すぎる
- ② 部活の指導が厳しい
- ③ 専門的な実技指導が受けられない
- ④ 顧問の先生との相性が合わない
- ⑤ レギュラーになれない
- ⑥ ケガなどで活動ができない
- ⑦ 他の部員との関係が悪い
- ⑧ 肉体的・精神的に疲労がたまる
- ⑨ 学業との両立が難しい
- ⑩ 家族の期待が大きすぎる
- ⑪ 家族の理解がない

部活動の問題点(中学生1・2年)



■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

部活動の問題点(中学生保護者)

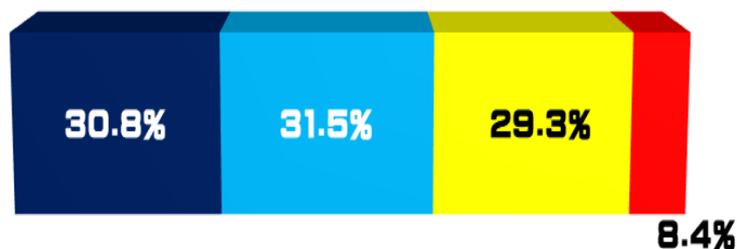


■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

<質問> (中学校教職員・小学校教職員)

- ① 施設・設備・用具などの環境の不備
- ② 地域指導者との連携不足
- ③ 費用負担の増大
- ④ 保護者の期待過多
- ⑤ 保護者の理解不足
- ⑥ 生徒の事故やケガ、健康状態の不安
- ⑦ 顧問の行き過ぎた指導
- ⑧ 希望以外の担当顧問の増加
- ⑨ 専門的技術指導のできる教員不足
- ⑩ 入部率の低下

部活動の問題点(中学校教職員)



■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

部活動の問題点(小学校教職員)



■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない

《部活動の問題点》(個別質問集計)

中学生(1・2年生) n=561

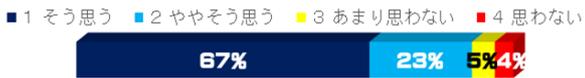
部活動の時間や日数が長すぎる



部活の指導が厳しい



専門的な実技指導が受けられない



顧問の先生との相性が合わない



レギュラーになれない



ケガなどで活動ができない



他の部員との関係が悪い



肉体的・精神的に疲労がたまる



学業との両立が難しい



家族の期待が大きい



家族の理解がない



中学生保護者 n=160

部活動の時間や日数が長すぎる



部活の指導が厳しい



専門的な実技指導が受けられない



顧問の先生との相性が合わない



レギュラーになれない



ケガなどで活動ができない



他の部員との関係が悪い



肉体的・精神的に疲労がたまる



学業との両立が難しい



家族の期待が大きい



家族の理解がない



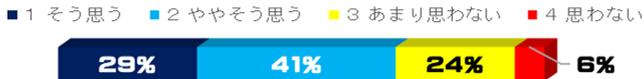
※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・「専門的指導が受けられない」ことに、中学生の90%が、その保護者の67%が、「そう思う」または「ややそう思う」と答えていることから、指導力の不満がうかがえる。
- ・また、「肉体的・精神的疲労がたまる」や「学業との両立が難しい」と回答した中学生とその保護者の割合が40%を超えているのが気にかかる。

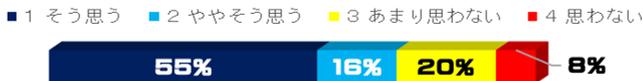
《部活動の問題点》(個別質問集計)

中学校教職員 n=49

施設・設備・用具などの環境の不備



地域指導者との連携不足



費用負担の増大



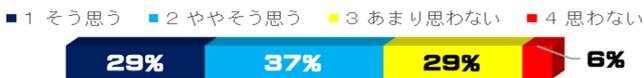
保護者の期待過多



保護者の理解不足



生徒の事故やケガ、健康状態の不安



顧問の行き過ぎた指導



希望以外の担当顧問の増加



専門的技術指導のできる教員不足



入部率の低下



小学校教職員 n=84

施設・設備・用具などの環境の不備



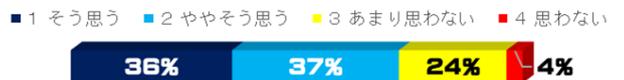
地域指導者との連携不足



費用負担の増大



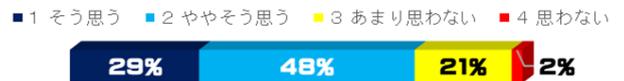
保護者の期待過多



保護者の理解不足



生徒の事故やケガ、健康状態の不安



顧問の行き過ぎた指導



希望以外の担当顧問の増加



専門的技術指導のできる教員不足



入部率の低下



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・全般的に部活動の問題点(否定的意見)が多いことがうかがえる。
- ・特に、「希望以外の担当顧問の増加」や「専門的技術指導できる教員不足」では、小・中学校教員とも80%以上がそう感じている。
- ・また、「施設等の環境への不満」や「地域指導者との連携不足」についても、70%を超えていることや、「生徒の健康状態の不安」についても高い数値が表れている。

《地域移行への考え方》

中学生(1・2年生) n=561

地域の指導者でもかまわない

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



学校での様子もわかってきている先生による指導がよい

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



どちらでもよい

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



小学生(5・6年生) n=621

地域の指導者でもかまわない

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



先生による指導がよい

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



どちらでもよい

■ 1 そう思う ■ 2 ややそう思う ■ 3 あまり思わない ■ 4 思わない



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・「地域指導者でもかまわない」という問いでは、小学生 71%、中学生 61%の肯定的意見がある、
- ・一方、「先生による指導がよい」という意見に対して、小学生 88%、中学生 74%の高い肯定的意見がある。
- ・また、「どちらでもよい」という問いでは、両者とも約 60%の意見がある。

中学生保護者 n=160

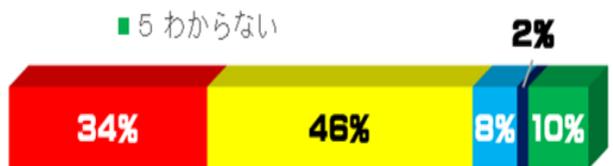
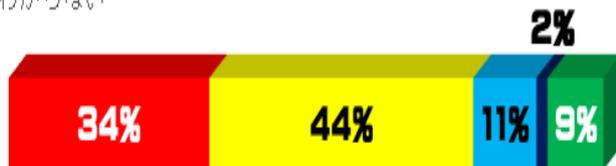
小学生保護者 n=260

地域移行が可能な部活動から段階的に進める

地域移行が可能な部活動から段階的に進める

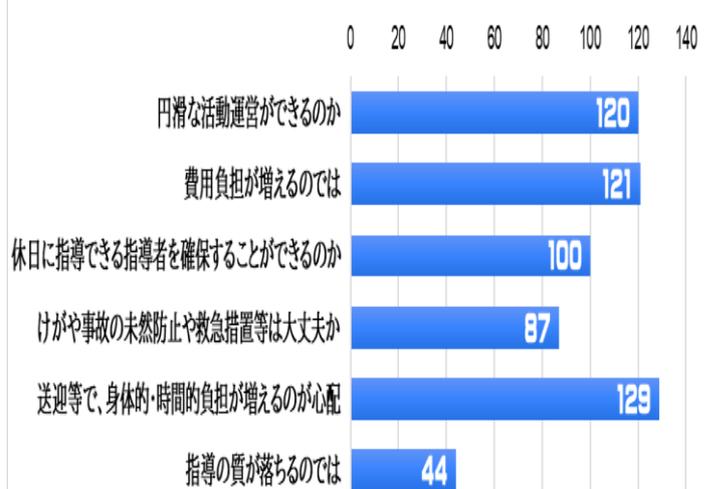
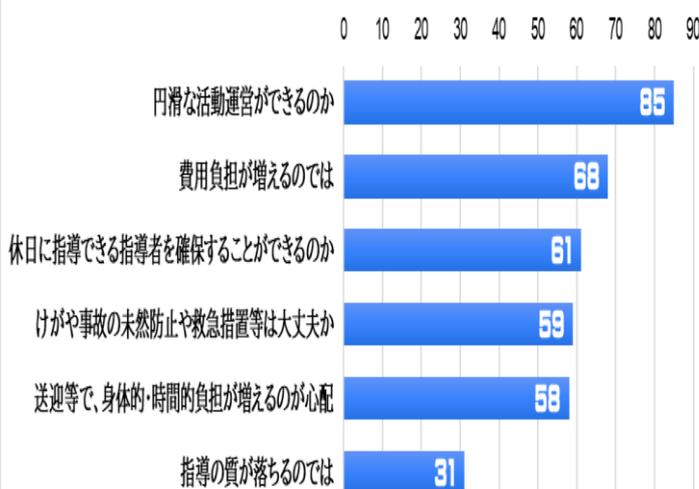
- 1 賛成である
- 2 どちらかと言えば賛成である
- 3 あまり好ましくない
- 4 反対である
- 5 わからない

- 1 賛成である
- 2 どちらかと言えば賛成である
- 3 あまり好ましくない
- 4 反対である
- 5 わからない



あなたは、部活動が地域に移行する場合、不安なことは

あなたは、部活動が地域に移行する場合、不安なことは



中学校教職員 n=49

- 1 賛成である
- 2 どちらかといえば賛成である
- 3 どちらかといえば反対である
- 4 反対である



小学校教職員 n=84

- 1 賛成である
- 2 どちらかといえば賛成である
- 3 どちらかといえば反対である
- 4 反対である



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・「地域移行が可能な部活動から段階的に進める」ことに対して、両保護者とも約 80%の肯定的意見をもっている。
- ・「地域移行で不安こと」としては、各項目とも約 20%前後の数値が出ている。
- ・教職員の意見として、中学校は 53%、小学校は 97%が肯定的意見をもっている。

《兼業兼職の意思》

中学校教職員 n=49

- 1 参画する
- 2 参画しない
- 3 現段階では分からない



小学校教職員 n=84

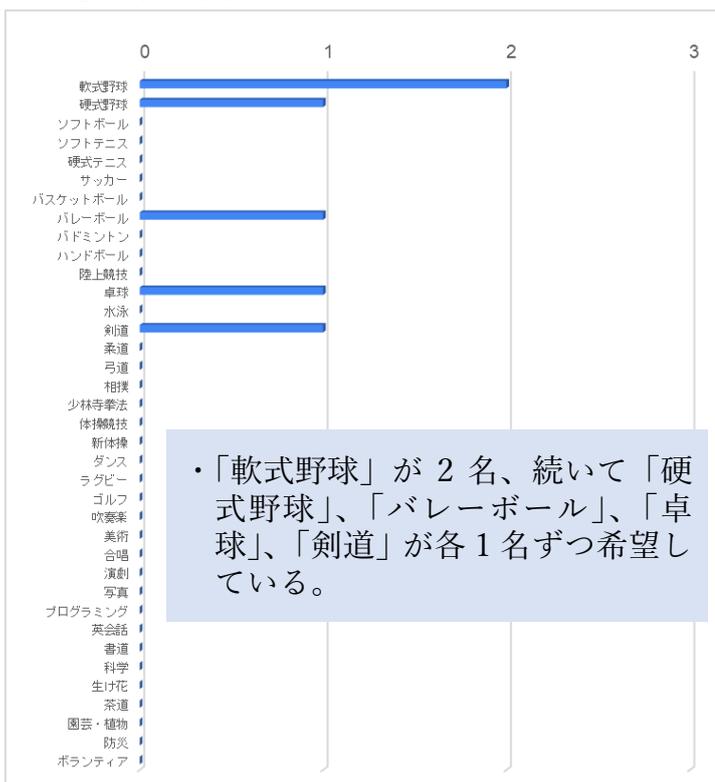
- 1 参画する
- 2 参画しない
- 3 現段階では分からない



- ・現在のところ、中学校では参画希望は 0 名で、小学校では 1 名が希望している状態である。
- ・「現段階では分からない」状態は、中学校では 57%、小学校では 36%である。

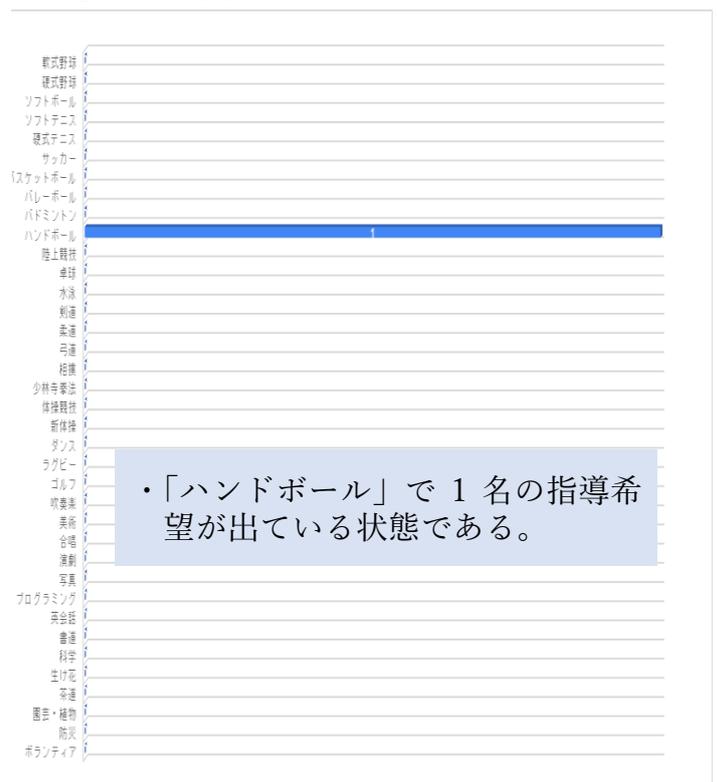
《活動希望種目》

中学校教職員 n=49



・「軟式野球」が 2 名、続いて「硬式野球」、「バレーボール」、「卓球」、「剣道」が各 1 名ずつ希望している。

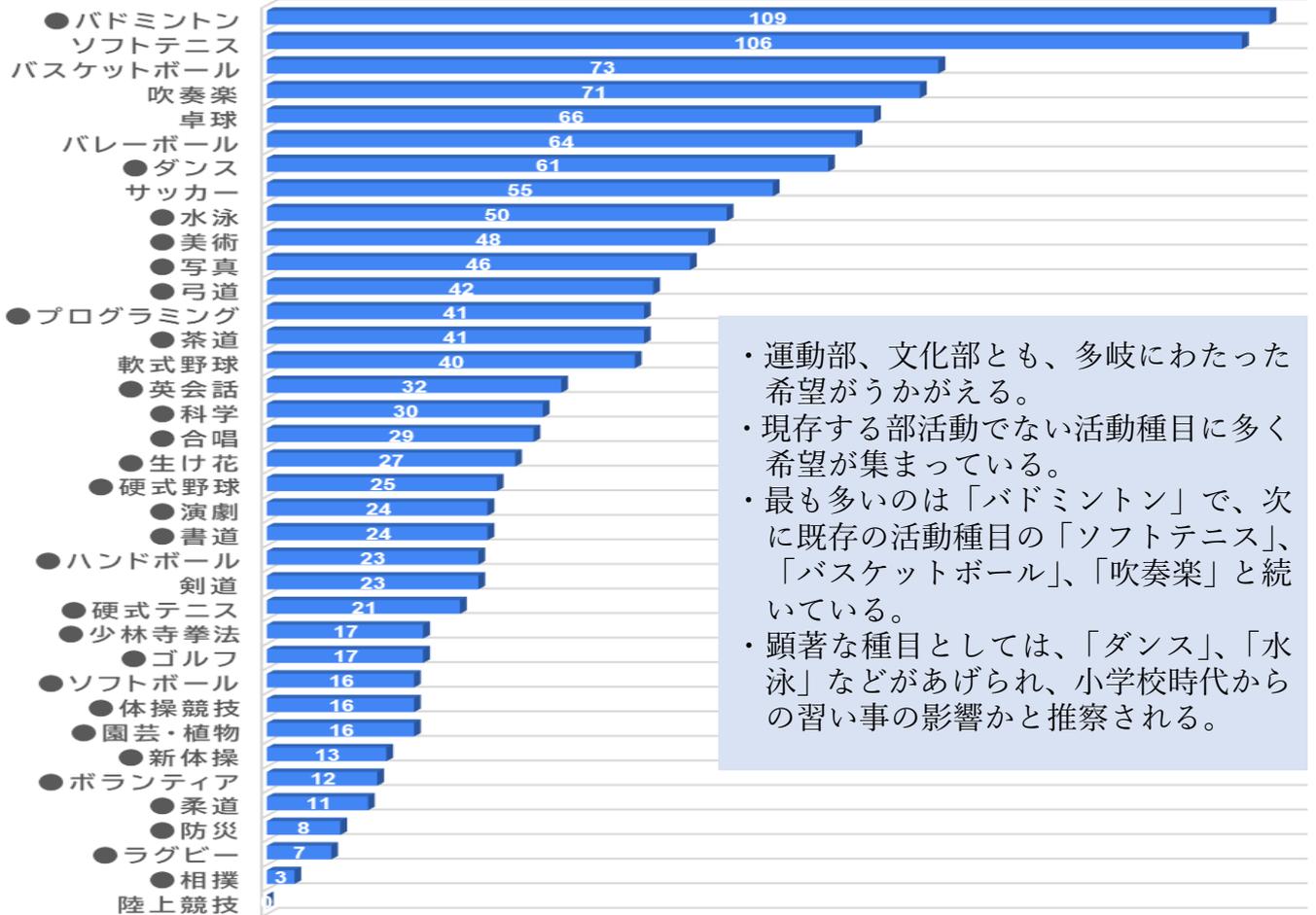
小学校教職員 n=84



・「ハンドボール」で 1 名の指導希望が出ている状態である。

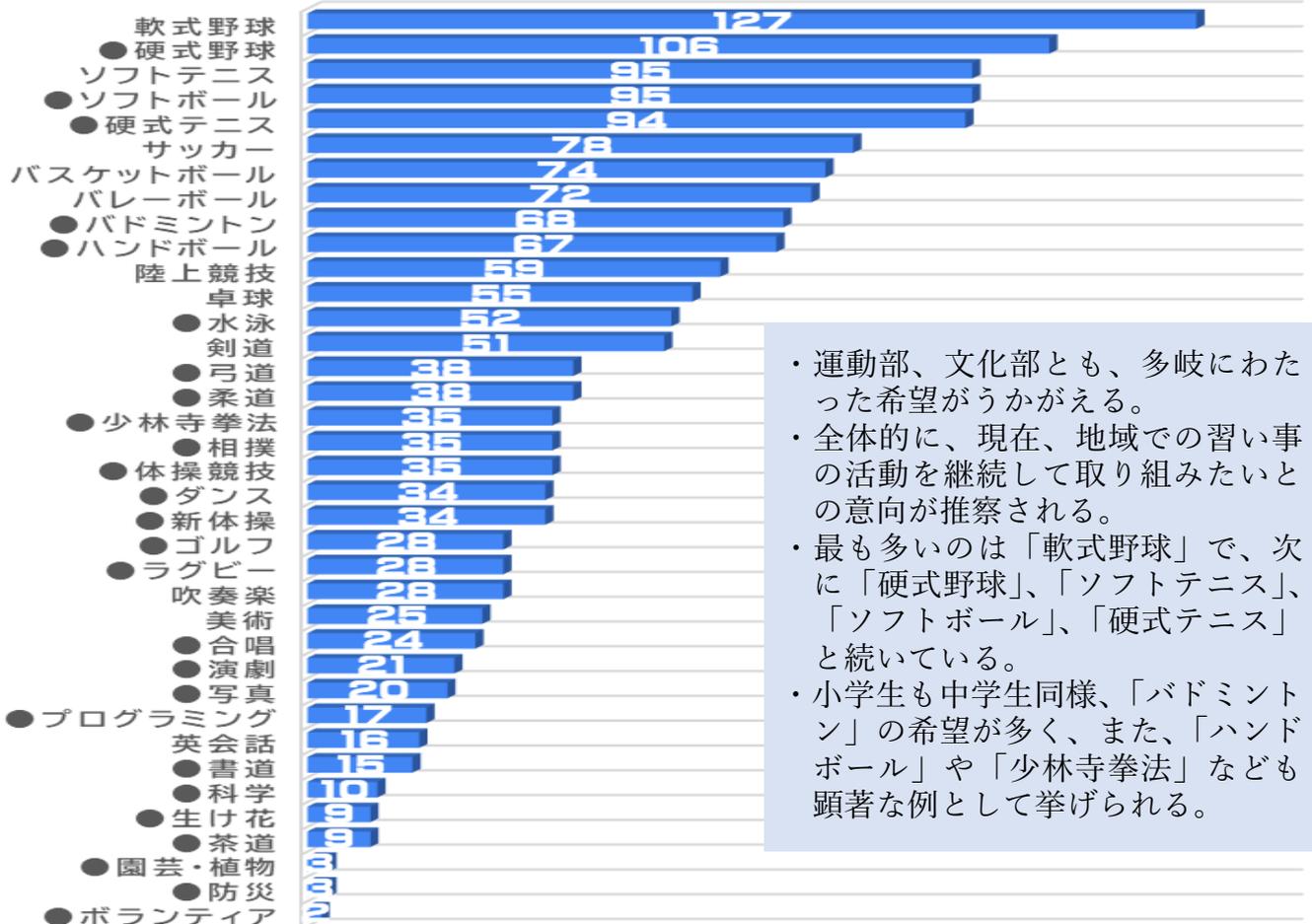
《活動希望種目》 ●現存しない部活動

中学生(1・2年生)



- ・運動部、文化部とも、多岐にわたった希望がうかがえる。
- ・現存する部活動でない活動種目に多く希望が集まっている。
- ・最も多いのは「バドミントン」で、次に既存の活動種目の「ソフトテニス」、「バスケットボール」、「吹奏楽」と続いている。
- ・顕著な種目としては、「ダンス」、「水泳」などがあげられ、小学校時代からの習い事の影響かと推察される。

小学生(5・6年生)



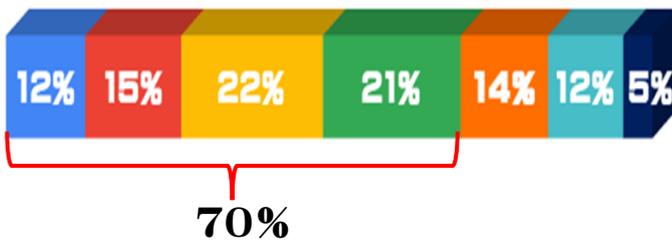
- ・運動部、文化部とも、多岐にわたった希望がうかがえる。
- ・全体的に、現在、地域での習い事の活動を継続して取り組みたいとの意向が推察される。
- ・最も多いのは「軟式野球」で、次に「硬式野球」、「ソフトテニス」、「ソフトボール」、「硬式テニス」と続いている。
- ・小学生も中学生同様、「バドミントン」の希望が多く、また、「ハンドボール」や「少林寺拳法」なども顕著な例として挙げられる。

《妥当な費用負担額》

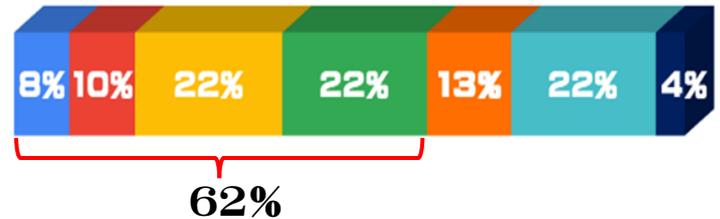
中学生保護者 n=160

小学生保護者 n=260

1ヶ月あたりどれぐらいの費用負担



1ヶ月あたりどれぐらいの費用負担



※肯定的意見(赤・黄)、否定的意見(青・紺)

- ・小学校・中学生の保護者とも、「501円~1000円」、「1000円~1500円」が約22%と最も多く、1500円以下が全体の62%から70%を占めている。

《その他意見》

中学生【肯定的意見】

- ・「スポーツや音楽を友達と一緒に取り組めて楽しい」や「試合や発表会でやりがいを感じる」など、連帯感や満足感を味わっている意見が目立っている。

中学生【否定的意見】

- ・グラウンドなどの狭さなどの環境改善の要望や、運動部の数が少なく選択しにくいという意見があり、希望する活動種目がない状況を指摘されている。
- ・活動時間を延長されることで、その後の予定に支障をきたしている状況を指摘されている。
- ・指導者の指導方法の古さなど、指導内容に疑問を感じている意見の多さが見受けられることから、指導内容の改善をはじめとした適切で専門的・技術的な指導を求める意見が多い。

保護者【肯定的意見】

- ・今回の中学校部活動の地域移行の動きで、「生涯スポーツ社会の実現を目指すべき」という意見や、希望する種目がある「スポーツクラブ21はりま」での活動を通して、競技力の向上を望む声がある。
- ・部活動には「一生懸命取り組み、楽しく活動し、よい経験を積ませてもらっている。」と、感謝の声がある。

保護者【否定的意見】

- ・クラブの選択肢が少なすぎることや活動場所の狭さなどを指摘される意見とともに、プログラミングが学べるパソコン部など、文化活動クラブを増やしてもらいたい意見や環境面の改善を望む声が目立っている。
- ・対外試合などの際、輪番制による保護者の配車での送迎について、事故等のリスクが多く精神的な負担が重いと感じている。
- ・中学生の年代にあった適切で質の高い指導を望む声がある。